

昭和62年度中学校修学旅行動向調査のまとめ

— 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会 —

ねらいに德育の重視 調査にみる学校のうごき

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(石川敏夫会長・水戸市立第二中学校校長)は、調査研究活動の一環として、昭和六十一年度から一中学校修学旅行の動向調査を三カ年連続して実施することとしており、今年度はこの第二年度の調査を実施した。

財団法人全国修学旅行研究協会では、この調査を集計、分析したので、ご参考に供したい。

この調査の目的は、最近の教育改革の動きや、急激な社会情勢の変化に対応して、修学旅行のねらいや、形態も著しく変容し、その内容も多様化しているのを、このような情勢の下における修学旅行の、特にねらい、内容等に焦点を絞り、これからの新しい方向を写し出し、各校の参考に供する所にある。

今年度の集計結果を昨年度分の資料と比較検討しながら分析を行った。表の数字は左側太字が本年度(六十二年)、右側細字が昨年度(六十一年)である。

調査項目は、昨年度と変わらず、調査I、修学旅行のねらいと内容五問、調査II、修学旅行の評価三問、今後の修学旅行四問の計十二問である。

調査はアンケート方式で、複数回答もある。調査期間は六十二年十一月一日から十一月十四日までとし、昭和六十二年年度実施の修学旅行についての調査である。

調査の対象校は、前記委員会加盟校の約一割に当たる二百十校(前年比二校減)を、地域環境、学校規模等を考慮して抽出した。

府県別回答数は表1、学校の地域環境は表2の通り、(表5)。

表1 府県別回答数

府県	回答数						計
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉		
関東	14	14	13	13	6	5	78
東海	10	10	37	37	6	6	53
近畿	3	6	10	11	28	21	79
合計	27	40	60	61	40	32	210

表2 学校の地域環境 (複数回答)

地域	回答数							計							
	農村	山村	漁村	商業	住宅	団地	工場								
関東	27	18	4	7	0	1	6	8	44	11	9	7	2	0	92
東海	16	18	6	5	1	2	5	9	25	28	3	4	2	2	58
近畿	20	20	7	7	1	2	7	9	44	48	7	7	2	4	88
計	63	56	17	19	2	5	18	26	113	117	19	18	6	6	238

1 修学旅行のねらいと内容

問1、あなたの学校の今年の修学旅行のねらいは、どこにありましたか。下のア〜ウについて、重要視した順に1〜3の番号を書いてください。(表5)。

この表のよみとり方について、近畿地区一の上から順に13、64、2は、ねらいの三つの中で最重要視しているものは知育が13校、德育が64校、体育が2校であったことを示している。以下各問とも同様である。

表5 問1. あなたの学校の今年の修学旅行のねらいは、どこにありましたか。下のア〜ウについて、重要視した順に1〜3の番号を書いてください。

記号	ねらい	関東			東海			近畿			合計														
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3												
ア	(知育) 教室の延長としての学習面	38	38	40	37	0	1	17	19	34	31	2	3	13	26	58	44	8	12	68	83	132	112	10	16
イ	(德育) 集団訓練、道徳、生徒指導の面	40	39	38	39	0	0	34	34	19	19	0	0	64	55	13	25	2	0	138	128	70	83	2	0
ウ	(体育) 保健衛生、健康、安全、体力増強の面	0	0	0	1	78	76	2	0	0	3	51	50	2	0	8	12	69	69	4	0	8	16	198	195

表6 問2. 修学旅行のねらいを更に細かく見て、あなたの学校ではどれを重視しましたか。次のア〜サの中から三つを選び、重要視した順に1〜3の番号をつけてください。

記号	ねらい	関東				東海				近畿				合計				%																		
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計																			
ア	わが国の文化遺産を見学し、日本人としての自覚を高める	30	34	25	20	8	6	63	60	3	5	9	4	3	3	15	12	4	4	3	7	1	3	8	14	37	41	37	31	12	12	86	86	14	14	
イ	政治、経済、産業の施設等を現地で見学し、学習を深める	4	3	4	4	3	1	11	8	14	12	17	14	6	7	37	33	3	6	8	11	3	5	14	22	21	21	29	29	12	13	62	63	10	10	
ウ	素晴らしい大自然に接し、豊かな心を養う	1	0	4	2	2	0	7	2	2	3	2	2	3	4	7	9	24	19	16	15	13	9	53	43	27	22	22	19	18	13	67	54	11	8	
エ	集団のきまり、公衆道徳などについて意識を高める	2	6	10	19	12	8	24	23	2	5	9	6	9	5	20	16	7	8	8	11	9	7	24	26	11	19	27	36	30	20	68	75	11	12	
オ	グループ活動、集団行動を通して自主的態度を養う	37	30	24	20	6	8	67	58	28	25	10	16	3	4	41	45	33	31	16	18	8	12	57	61	98	86	50	54	17	24	165	164	26	26	
カ	教師と生徒、生徒相互の人間関係を深める	1	2	6	8	9	17	16	27	3	0	2	9	4	5	9	14	1	2	10	11	7	9	18	22	5	4	18	28	20	31	43	63	7	10	
キ	中学時代の豊かな楽しい思い出を作る	1	1	5	3	38	37	44	41	0	2	4	2	25	24	29	28	3	3	6	2	27	28	36	33	4	6	15	7	90	89	109	112	17	16	
ク	奉仕活動、勤労体験、現地との交流等を行う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケ	平和と戦争についての関心を深める	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	9	9	5	8	7	21	31	5	9	9	5	8	7	22	21	3	3	
コ	キャンプ、登山、スキー等を体験する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	3	1	3	0	6	2	0	2	3	1	3	1	6	4	2	1	
サ	その他	1	1	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	2	2	0	0
計		234				231				159				159				227				246				630				636						



問3、あなたの学校の今年の修学旅行は、下のア〜オのどの形だったでしょうか。最も近いと思うものを一つ選んで、その記号を○で囲んでください。(表7)。

これは関東地区においては昨年と変わらないが、東海地区ではア〜エへの変化がみられ、近畿地区ではア〜イへと逆の推移が読みとれる。文部省教科調査官高橋哲夫氏が日頃から強調されている「修学旅行をわがごとく」のよき計画段階から可能な限り生徒の自主性にまかす方法が望まれる。これも先の研究大会の発表で、愛知県半田市立重崎中学校が、立派にこれを成し遂げていた。多くの学校が早急に対応し、踏み切れないのは、生徒の実態や、準備時間の不足が考えられる。

問4、あなたの学校では、修学旅行の事前指導を、どのように積み重ねていきますか、簡単に記入してください。(表8)。

これについては、内容的には同種類と思われる行事が、学校や地方の独自の名称を使用しているので分類に苦労したが、昨年に準じて集計した。

表7 問3. あなたの学校の今年の修学旅行は、下のア〜オのどの形だったでしょうか。最も近いと思うものを一つ選んで、その記号を○で囲んでください。

答	修学旅行の指導の形	関東	東海	近畿	合計	%					
ア	主として教師中心	3	2	5	6	4	6	12	14	6	7
イ	教師の指導が比較的多い	23	25	17	18	38	20	78	63	37	30
ウ	教師の指導と生徒活動が相なればする	37	36	18	25	31	48	86	109	41	51
エ	生徒の自主的活動が比較的多い	13	12	13	4	6	7	32	23	15	11
オ	主として生徒が中心	2	2	0	0	0	1	2	3	1	1
計		78	77	53	53	79	82	210	212		

とびだせ自然へ
緑の箱根へ

レクチャーホール

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164
電話0460-4-8595(代表)

箱根高原ホテル

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい
修学旅行の一夜をお過ごし下さい。

そのほか
冬期はスキー教室
夏期は林間学校

奥日光高原ホテル
〒321-16
日光市湯元2549-6
(TEL) 0288-62-2121代表